





安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)



















図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告



 禁止	電源は交流100V以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	本体(特にLED)とACアダプターに布や紙など燃えやすいものをかけない。かぶせたまま・かけたまま使用しない。 火災・感電の原因になります。
	付属の専用ACアダプター以外は使用しない。付属の専用ACアダプターを他製品で使用しない。 火災・感電・けが・故障の原因になります。	 禁止	コイン形リチウム電池を火中に投入したり、加熱しない。 破裂・発火の原因になります。
	お手入れのときは、ACアダプターをコンセントに差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源を切り、ACアダプターを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
	ACアダプターや電源コード、DCプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 指示	ACアダプターの取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 感電・けがの原因になります。		使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	室内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5℃～35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電・故障・LEDの寿命が短くなる原因になります。		コイン形リチウム電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	直射日光・暖房機・冷房機の風が直接当たるような環境では使用しない。本機の近くに置かない。 火災・故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドワンシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	可燃性のガスやホコリ・粉じんのあるところ、多いところでは使用しない。 火災・故障の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない。 電源の入・切などの操作も行わない。 感電の原因になります。
	電源コード、ACアダプタが痛んでいたたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。湿気の多い場所や、常時温度が高い場所への設置はしない。 ショート・火災・感電の原因になります。

注意

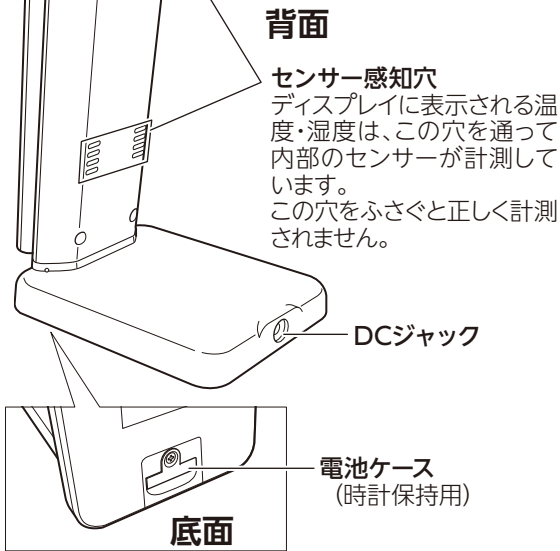
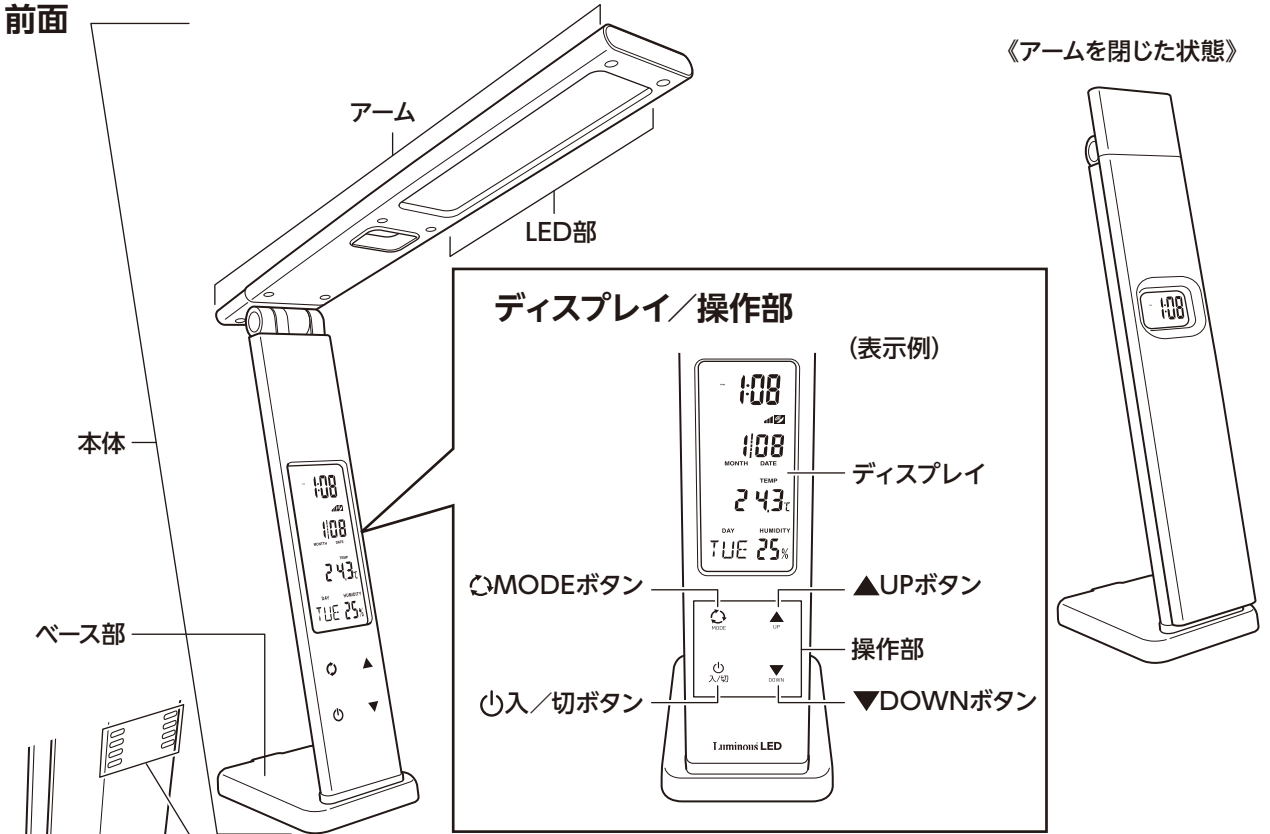
 <p>禁止</p>	<p>点灯中や消灯直後はLEDやそのまわりが熱くなっているため器具に触れない。 やけどの原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>お手入れのときは、住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けず。また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>操作部に濡れたタオルなどをかけない。 ウ入／切ボタンが反応して電源が入る原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ものをぶつかけたり、高いところから落下させたりして衝撃をあたえない。 本機の落下によるけが・やけどの原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>本体のアームを動かすとき、角度を変えるときなどは、必ずベース部を押さえた上でアームの上部を動かし、指などをはさまないように注意する。 転倒や落下・けがの原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>LED光源を直視しない。 目に悪影響を及ぼす原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>本体やアームの可動部は、可動範囲内で動かす。 無理に動かすと破損の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>不安定な場所では使用しない。ベッドの近く、カーテンの近くなど燃えやすいものの近くでは使用しない。 火災や故障の原因になります。落下や転倒を防止するため水平な安定した場所で使用してください。</p>	 <p>指示</p>	<p>設置後、長期間使用すると外部に異常がなくても内部の劣化は進行するため、点検をする。 点検せずに使用を続けると、火災・落下による感電・けがの原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>テレビやラジオなどの音響機器の近くで使用しない。 雑音の原因になります。使用する場合はできるだけ離して使用するようしてください。</p>	 <p>指示</p>	<p>ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>雷が鳴りだしたらACアダプターをコンセントから抜く。 故障の原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>コイン形リチウム電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>コイン形リチウム電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>長時間使用しないときはコイン形リチウム電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>コイン形リチウム電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。</p>	 <p>指示</p>	<p>廃棄するときは、コイン形リチウム電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>

使用上のご注意

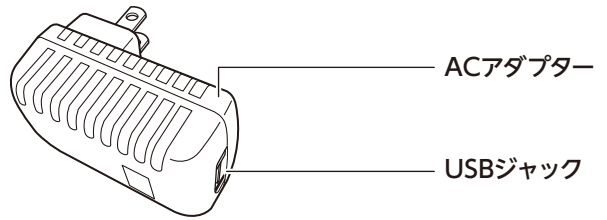
電波時計について

 <p>指示</p>	<p>■電波時計とは 時刻の情報を持った電波を受信する機能を持ち、受信によって時刻を自動で設定・修正する機能を持った時計です。 本機は、日本の標準電波(JJY)を受信し、日本標準時(JST)を設定・表示させることができます。 標準電波(JJY)は、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)によって運用されており、福島県のおおたかどや山標準電波送信所(福島40KHz)と福岡県・佐賀県の県境にあるはがね山標準電波送信所(九州60KHz)の2カ所から送信されています。日本全国をカバーしており、送信所から1000km離れていても受信することは可能です。 ・標準電波は24時間継続して送信されています(一時的に保守作業で送信を停止することもあります)。 ・電波的障害により、受信できない、あるいは受信が難しいことがあります(天候・気象条件、地形、太陽活動、時間帯、設置場所など)。 ・天候や気象条件によって電波障害が起きて、受信機能が制限されて使用できないときは、受信条件のよい場所や深夜の時間帯など受信条件のよい時間に受信させることができれば、通常の機能に戻って自動修正機能が働くようになります。</p> <p>・本機では、毎日午前2時から数回自動で受信して自動で設定・修正します。 受信できないときは、一般的なクォーツ時計として、動作します。 受信できない環境でも、定期的に(月に一度など)受信できる環境に移動させ、再度強制受信をさせると、細かく設定をしなくてもほぼ日本標準時に近い状態を維持することができます。</p>
 <p>指示</p>	<p>電波を受信する時計のため、正確な時刻表示させるためには、以下のようなところで使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧高架線など電線の近く ・ 地下室、厚い壁のあるビルの内部など ・ 金属製の雨戸・ブラインドなどの近く ・ 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中 ・ テレビやパソコン・電子レンジなどの高周波を扱う電化製品・OA機器の近く ・ 電波を遮断する山・鉄道・道路などの高架構造物・大規模建築物などの近く ・ 交通量の多い幹線道路・空港・工場などの、電波障害がおきるところ

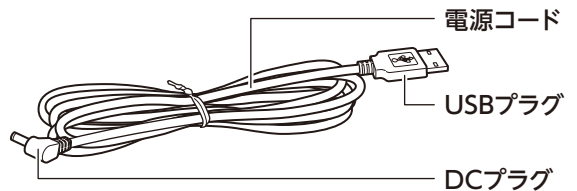
各部の名称とはたらき



ACアダプター



電源コード



梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1個	コイン形リチウム電池 (CR2032)	
ACアダプター	1個	(出荷時装着済)	1個
電源コード	1個	取扱説明書 (保証書含む)	1個

使用前の準備

本機には、時計保持用電池としてコイン形リチウム電池が装着済ですので、絶縁フィルムを引き出してご利用ください。

時計保持用電池について

時計保持用電池は、電源の接続がない時でも、時計やアラーム時間などを保持するためのものです。さらに電波受信設定がされているときは電波受信も行なうため、電源接続がない状態が続くと一週間程で消耗してしまいます。常時電源接続をするようにしてください。

付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短期間で寿命になります。

電池交換のしかた

DCプラグを抜き差しして時計や日付がリセットされるときは、新しい電池(CR2032)を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

1. 電池ケースのねじをお手持ちのプラスドライバーで取りはずし、電池ケースをコインなどを使用して引き出す

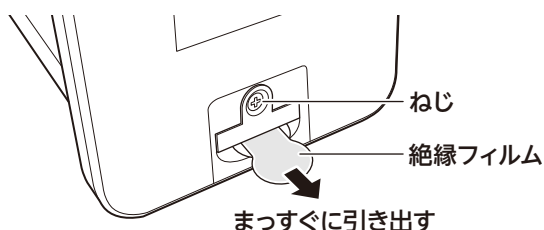
※ねじを取りはずすドライバーは、適切なサイズのプラスドライバーをご使用ください。

2. 古い電池を取り出し、電池の向き(⊕⊖)に注意して新しい電池を電池ケースに入れる

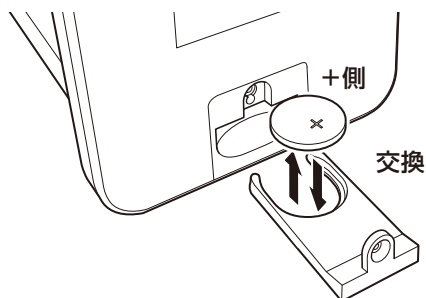
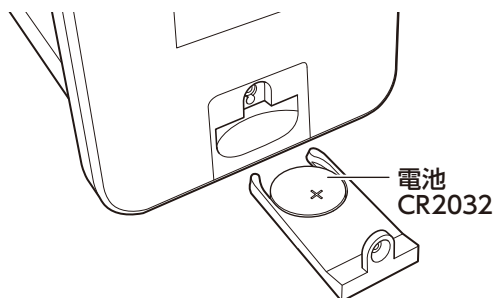
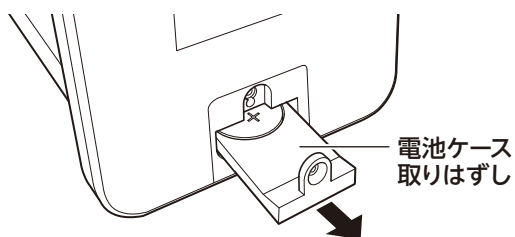
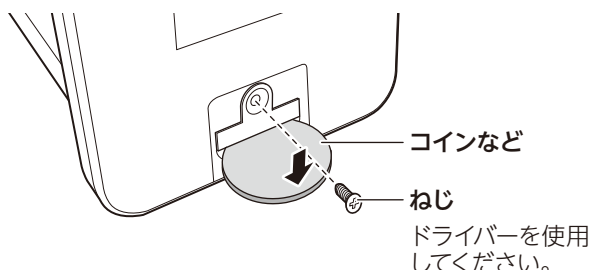
- 電池の⊕側を上(電池ケースのねじのある側)にして入れてください。
- 取りはずした古い電池は、危険ですので、お客様の手の届く場所には保存しないでください。
- 取りはずした古い電池は、お住まいの自治体の指示に従って適切に処分してください。

3. 電池ケースを本体に差し込み、電池ケースのねじを取り付ける

《使用開始するとき》



《電池を交換するとき・取り出すとき》



⚠注意

- 長時間使わないときは、電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。
- 電池を子供が飲み込んだりしないように必ず電池ケースにねじを取り付ける。

設置のしかた



安全な場所に設置してから使用を開始する。
感電や故障の原因になります。

1. 本体を水平で安定した場所に設置する

付属の電源コードの長さでコンセントまでの距離などを考慮の上、設置してください。

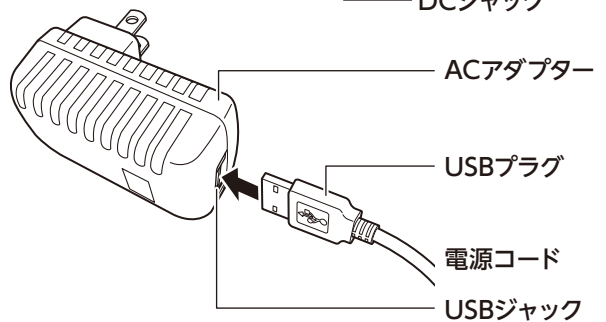
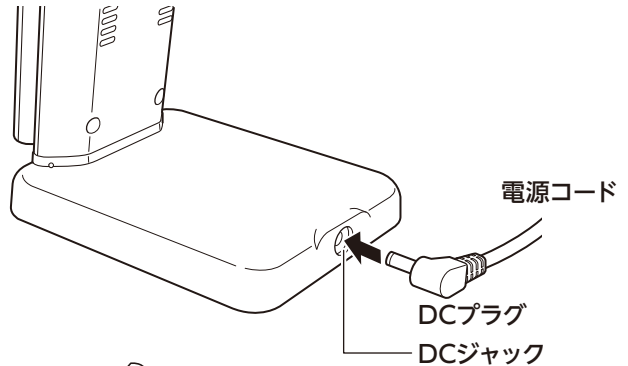
・電波時計は窓際に近い場所で受信が可能です。ディスプレイ右上の電波マークを確認してください(8ページ)。

2. 本体のDCジャックに電源コードのDCプラグを取り付ける

本体にDCプラグをしっかりと取り付けます。

3. ACアダプターに電源コードのUSBプラグを取り付ける

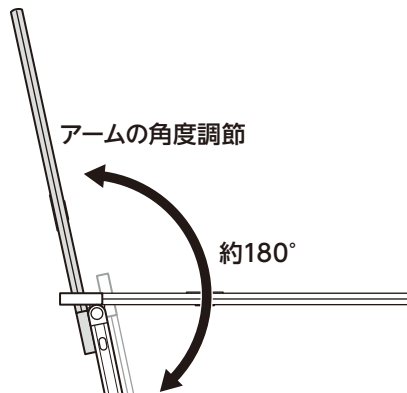
USBジャックの奥まで取り付けてください。



- ・電源コードの取り回しに注意する。
電源コードを本体の間接部分に挟んだり、ベースの下を通したりしないように注意してください。火災や感電の原因になります。
- ・必ず付属のACアダプターで使用する。
パソコンのUSB端子などに接続しても使用することができませんので、必ず付属のACアダプターで使用してください。

4. ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込む

コンセントの奥まで取り付けてください。
正しく取り付けられると、ピーツとブザーが鳴り、ディスプレイが表示されます。

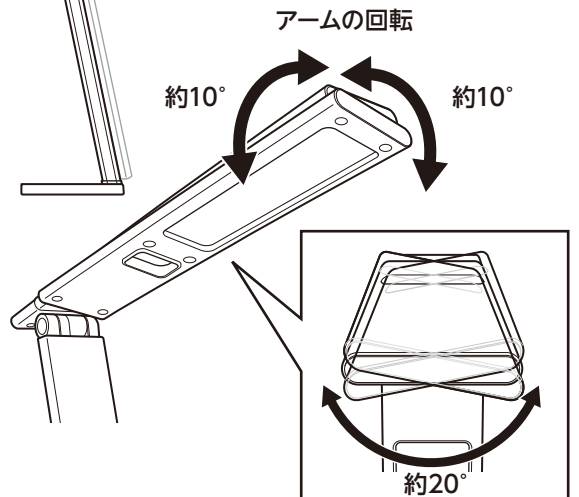


角度の調節

アームとLED部の角度を調節することができます。



- ・本体のアームを動かすとき、角度を変えるときなどは、必ずベース部を押さえた上でアームの上部を動かし、指などはさまないように注意する。
- ・角度調節は安全のため電源を切った状態で行なう。
- ・電源コードの取り回しに注意する。
電源コードを本体の関節部分に挟んだり、ベースの下を通したりしないように注意してください。火災や感電の原因になります。
- ・本体やアームの可動部は可動範囲内で動かす。
無理に角度を変えると、破損・故障の原因になります。



正しい使いかた

LEDの点灯・調節・消灯

本機のボタンは触れるだけで動作します(手袋などをしていると動作しないことがあります)。

※ ディスプレイには、LEDの点灯の情報は表示されません。

1. 入/切ボタンでLEDを点灯させる

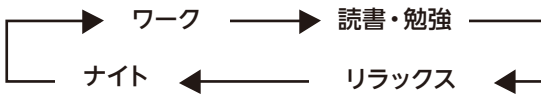
電源「入」になり、LEDが点灯します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回使用したモードと明るさで点灯します。
- ACアダプターをコンセントに接続してから初めての点灯は「ワーク」モードで点灯します。

2. MODEボタンで好みのモード(調色)を設定する

4つ調色モードがあります。

MODEボタンを押すたびにモード(調色)が切り替わります。



ワーク 自然な色合いの**昼白色**。
(様々な生活シーンにおすすめ)

読書・勉強 爽やかな色合い**昼光色**。
(読書、勉強におすすめ)

リラックス 落ち着いた色合いの**電球色**。
(くつろぎタイムにおすすめ)

ナイト **常夜灯モード**(明るさの調節不可)。

続けてモード(調色)を切り換えるには、モード(調色)が変化したあと、一度MODEボタンから指を離す必要があります。

3. UPボタン・DOWNボタンで好みの明るさ(調光)を設定する

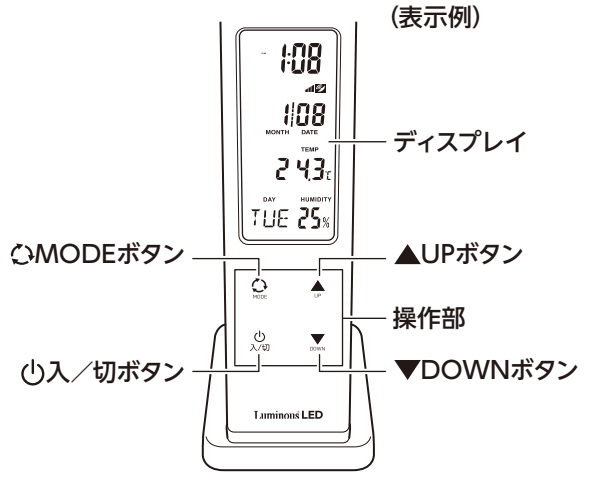
各モードごとに明るさを調節することができます(4段階・ナイトモードは明るさの調節不可)。

- ▲UPボタンを押すと明るくなります。
- ▼DOWNボタンを押すと暗くなります。
- ブザー音でも変化がわかります。明るくなったり暗くなったりしたときは、ブザー音が鳴り、最大の明るい状態または暗い状態になっていて変化がない時はブザー音が鳴りません。

4. 入/切ボタンでLEDを消灯させる

電源「切」になりLEDが消灯します。

ディスプレイ/操作部

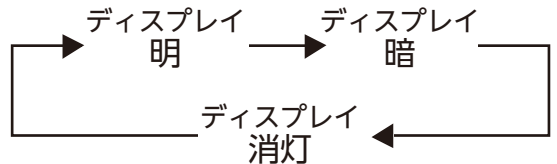


ディスプレイの調節・消灯

時計機能を稼働させたまま、ディスプレイの表示を暗くしたり、消灯させることができます。

1. 入/切ボタンを長押しする

入/切ボタンを長押しするたびにブザーが鳴り、ディスプレイ部の明るさが変化します。



- 続けて明るさを変化させるためには、明るさが変化したあと、一度入/切ボタンから指を離す必要があります。
- LED点灯・消灯時どちらでも操作できます。
- DCプラグを抜き差しすると、ブザー音「ピーツ」が鳴り、ディスプレイは明るく点灯します。



長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから取りはずし、電池も取りはずす。

正しい使いかた (つづき)

電波時計を使用するにあたって、電波が正しく受信できないと電波時計として使用することができません(3ページ参照)。

電波受信状況の確認

初めて電源を接続すると、ディスプレイ右上の電波マークが点滅し、電波受信を開始します。

- 点滅状態の電波マーク左のバーは電波の状況を示し、1本でも表示されていると、電波が少なからず受信できていることを示しています。受信状態が続くと、数分~10分程度で正確な時間表示になります。
- 設置するときに電波マークの左のバーを参考にしてください。

電波マークが表示されていないとき

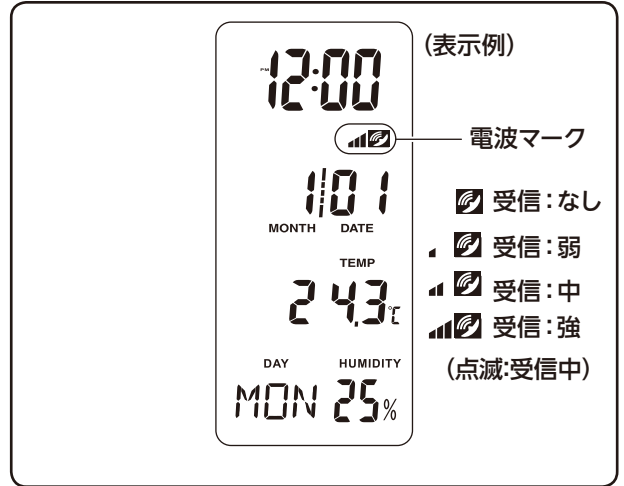
下記の電波時計の受信設定をしてください。

電波時計の使用／受信設定

- 電波時計を使用するときは、▲UPボタン・▼DOWNボタンを同時に長押しにして電波マークを表示させる

電波時計を使用するときは電波マークを表示させて受信設定をします(電波受信状況の確認)。

- 受信設定すると、改めて受信を開始します(強制受信)。改めて時計を合わせることができます。



- 電波時計を使用しないときは、▲UPボタン・▼DOWNボタンを同時に長押しにして電波マークを消す

電波マークが消えているときは、電波時計を使用しない時計表示させます。

時計設定／表示設定

電波時計使用しないときの時刻・日付の設定、表示設定(12時間表示/24時間表示、温度の摂氏(°C)華氏(°F)の設定)をします。

- 電源「入」の状態(LED点灯時)でMODEボタンを長押しして時計設定モードにする

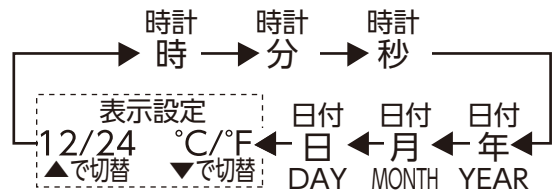
ピーツとブザーが鳴り、時計設定モードに入ります。

- 入/切ボタンで設定する部分を移動させ、▲UPボタン・▼DOWNボタンで数値などを設定する

時間(時・分・秒)、年(西暦)・月・日、12/24時間表示と温度表示を設定します。

- 秒は、▲UPボタン/▼DOWNボタンどちらを押しても00秒になります。
- 12/24時間表示と温度表示は、▲UPボタンを押すたびに12/24時間表示、▼DOWNボタンを押すたびに摂氏(°C)華氏(°F)表示が切り替わります。

設定開始: ○MODEボタン長押し
設定項目を移動: 入/切ボタン
数値変更: ▲UPボタン・▼DOWNボタン
設定終了: ○MODEボタン長押し



時間設定/
アラーム設定: ○MODEボタン

- 設定モードを終えるときは再度MODEボタンを長押しする

約30秒ボタンを押さずにそのままにすると、設定モードを抜けて普通の時計表示に戻ります。

アラーム設定

アラームを2つ (ALARM1・ALARM2) 設定することができます。

1. 電源「入」の状態(LED点灯時)でMODEボタンを長押しして時計設定モードにする

ピーツとブザーが鳴り、時計設定モードに入ります。

2. MODEボタンを押してアラーム設定モードにしてALARM1、ALARM2を選択する

MODEボタンを押すことでALARM1・ALARM2・時計設定モードが切り替わります。

3. UPボタン・DOWNボタンでアラームのON/OFFを設定する

ON/OFF設定後、既にアラーム時間が設定されている場合は、MODEボタンを長押しして設定を終えることができます。

4. アラーム時間の設定をするには、入/切ボタンを押してアラーム時間を設定する

UPボタン・DOWNボタンでアラーム時間とON/OFFを切り替えます。

- MODEボタンを押すと、ALARM1の設定が終わった後はALARM2のON/OFF、ALARM2の設定が終わった後はアラーム設定/時計設定状態に戻ります。
- MODEボタンを長押しすると設定を終えることができます。

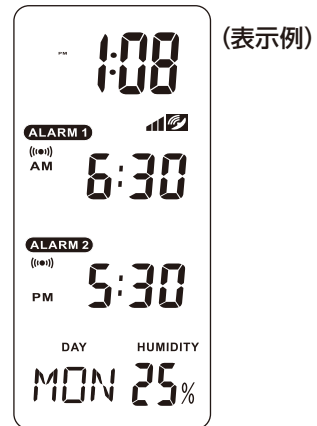
5. 設定モードを終えるときはMODEボタンを長押しする

約30秒ボタンを押さずにそのままにすると、設定モードを抜けて普通の時計表示に戻ります。

- ALARMの設定がONにしている場合は、常時ALARMの時間が表示されます。そのためALARM1では月・日の表示、ALARM2では温度表示が表示されなくなります。

アラーム設定

- 設定開始: ○MODEボタン長押ししたあと
○MODEボタン
- 設定項目を移動: 入/切ボタン
- 数値変更: ▲UPボタン・
▼DOWNボタン
- 設定終了: ○MODEボタン長押し



6. アラームが鳴ったときは、入/切ボタンに触れるとアラームが停止する

アラーム設定時間になると約60秒間アラームが鳴ります。入/切ボタンを押すと、アラームが停止します。

スヌーズモード

アラームが鳴っているときに、MODEボタン、UPボタン・DOWNボタンの3つのボタンいずれかを押すと5分おきのスヌーズモード (10:00) が点滅) に入ります。

- アラームは24時間ごとに毎日繰り返して鳴りますので、使用しない場合はOFFに設定してください。

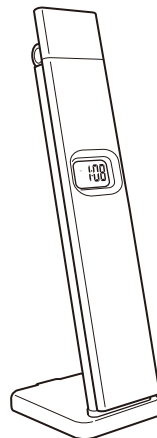
正しい使いかた (つづき)

アームを閉じて使用

本機のアームには時計表示用の穴があいており、アームを閉じて、時計を確認することができます。

⚠️ 注意

LEDを点灯したままアームを閉じない。
アームを閉じてLEDは点灯したままです
ので、消費電力がかかるだけでなく、LED
がディスプレイ部分に悪影響を与えます。
アームを閉じるときは、LEDを消灯して
ください。



お手入れと保存

⚠️ 警告

お手入れの際は、安全のため電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く。
感電・火災・やけどの原因になります。

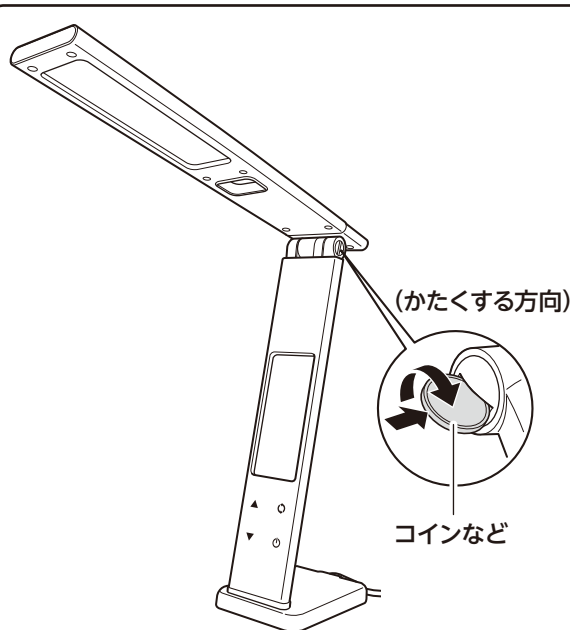
⚠️ 注意

- シンナー・ベンジンなど揮発性のもの
や、みがき粉、洗剤、たわし・スポンジの
かたい面を使用してお手入れをしない。
- 殺虫剤などかけたりしない。
破損・変色などの原因になります。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃してください。
- 通常ホコリをとるときは、掃除機で吸い取り、ホコリを拭き取ってください。
- お手入れのあと十分に乾燥させてください。
- 汚れがひどいときは、石けん水に浸した布をよくしぼって拭き取ります。乾いたやわらかい布で仕上げ、十分に乾燥させてから使用を開始してください。

保存のしかた

- 折りたたんで保存してください。
- 長期保存するときはLED部にほこりが付かないようにするためポリ袋などをかけ、直射日光をさけて、湿気の少ないすずしいところへ保存してください。
- コイン形リチウム電池を取りはずしてください。





関節部分の調節

- 関節部分をコインなどで回すと、関節部分をかたく・ゆるく調節することができます。
- 角度を変えたくないときはかたく、容易に動いてほしいときはゆるくします。

修理・サービスを依頼する前に

警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
LED		
点灯しない	・ACアダプターがコンセントから抜けている	ACアダプターをコンセントに差し込む
	・DCプラグがDCジャックからはずれている	DCプラグをDCジャックに差し込む
	・付属のACアダプターを使用していない	付属のACアダプターを使用する
Ⓜ入/切ボタンなど操作部が反応しない ボタンに触れても反応しない	・手袋などをして操作している	素手で操作する
	・操作部に他のものを載せている	操作部から他のものをはずす
	・操作が混乱している	DCプラグを抜き差ししてみる
調光できない	・ナイトモードを選択している	ナイトモードは調光できません
希望の角度で静止しない	・関節部分がゆるんでいる	関節部分をコインなどを使ってかたく調節する
アームを閉じてても消灯しない	・消灯する機能はありません	消灯させてからアームを閉じる
電波時計		
時計の設定ができない	・電源を入れていない (LEDが点灯していない)	電源を入れて (LEDも点灯させる) から設定を開始する
電波を受信しない	・窓際から離れているため受信できない	窓際などに移動して再受信させる
	・窓際でも受信できない	窓ガラスを強化するために金網が埋め込まれているなどすると電波が弱くなり受信できません
	・  電波マークを点灯させていない	 電波マークを点灯させる
ACアダプターを抜いたりすると時計がリセットされる	・コイン形リチウム電池が寿命	コイン形リチウム電池を交換する
ディスプレイが表示しない	・電源に接続していない	電源に接続する
ディスプレイが表示しない、表示が暗い	・ディスプレイを消灯、もしくは暗く設定している	ディスプレイを調節する (7ページ)
カレンダーや温度が表示されない (ALARM表示が出ている)	・アラーム設定をしている	アラーム設定をOFFにする (カレンダーならALARM1、温度ならALARM2)

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・本体・ACアダプターが異常に熱い。
- ・本体に触れると電気を感じる。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、必ず販売店またはドゥシシャお客様相談室に点検をご相談ください。